

2024年版 [釣行回数: 24回 平均釣果: 57.4尾 総釣果: 1,378尾 1日最高釣果: 125尾 最長寸: 24cm]

No.001

釣行月日: 2024年06月01日(土) 06:30~17:20

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 14℃

河川: 赤木川・大塔川 (和歌山県)

水況: 若干高め

釣果: 13尾, サイズ: 12cm~19cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨

内容:

今年初釣りとなる。3日前の雨が無ければ本流も竿が出せたのに...

水量的にはちょうど良いかもと、昨年と同じポイントに向かう。既に橋の上下には釣り人が居る。昨年良かった反対側の流れが無くなっていた。工事の影響か大石がせき止める形になっているように見える。

橋の真下から下流が空いていたので入る。水温が低いので朝いちが厳しそうなのでじっくり時間をかけて泳がせるか。

まあ~しかし解禁なのにどうも様子がおかしい。これで掛からなければ... 考えたくない。

時間はかかったけど1尾が掛かるが小さい。オトリサイズギリギリ!?

天然に変わって泳ぎが良いのか手前で18cmの予想もしない良型が掛かる。

その後掛からずあちこちと探るも掛からない。下の釣り人が下流に少し下がったので自分も少し下がる。

数尾掛かっても数が出そうもない。型はマシ。上流へ移動しても小石底になっていてポイントとしては...

今の時期では... さらに上流へ移動しながら探るも掛かるポイントを探しきれなかった。

他の釣り人も苦戦しているようだ。昼過ぎまで11尾。小和瀬に移動してみる。

流石に白い川底では釣り人もやる気が起らないだろう。まあ、やってみて駄目だったらもう終了かな。

ここで獲り込めたのは2尾あとは風で煽られ2尾獲り込み失敗、逃げられる。

夕方最後請川出合の大塔川へ行って小型1尾。今年は厳しいのか、大水後で安定してないから?

動画: <https://youtu.be/qcutAp04984>



No.002

釣行月日: 2024年06月02日(日) 06:30~15:50

天気: 曇後晴, 気温: ?, 水温: 15℃

河川: 四村川 (和歌山県)

水況: 若干高め

釣果: 18尾, サイズ: 10cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨

内容:

この状況から何処のポイントも厳しそう。早朝は肌寒いしこのまま帰るか?

せっかくなので別のポイントで試してみようか?

知人に四村川で良さそうなポイントを教えてもらったので、初めてのポイントでもあり行ってみる。

川の両岸しか良さそうにない。でも魚影も確認できないけど... 右岸側で大石で水深と流れのある場所で泳がせると目印に反応があり掛かる。数尾掛かってあとはお終い。上流へ200m位まで釣り歩いたが掛からず。

11時頃に場所移動して早めの昼食。ここ数年行っていないけどとりあえず行ってみる。

流れのある大石裏周辺で数尾掛けては移動しながら釣り歩く。13尾追加して18尾と何とか昨日より数を稼げた。

苔が付く頃どうなるか? 動画: <https://youtu.be/gIfZvHm9-eY>



2024年版 [釣行回数: 24回 平均釣果: 57.4尾 総釣果: 1,378尾 1日最高釣果: 125尾 最長寸: 24cm]

No. 003

釣行月日: 2024年06月08日(土) 07:00~17:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 17°C

河川: 安曇川・朽木(滋賀県)

水況: 若干高め

釣果: 48尾, サイズ: 12cm~17cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 楔: 6.5号本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

どの河川も厳しそうなので、今回は近場での釣行にした。

思ってた以上に釣り人が多い気がする。支流が解禁するからか?...

船橋へ行ってみる。右岸がちよっと削られ車を止める部分が狭くなっていた。

まずは右岸側の水深と石の荒いほうを中心に攻めてみた。あまりかからず...

周りもあまり掛かっている雰囲気はない。上流の瀬肩が空いてそうなので移動する。

兩岸から攻めてポツリポツリだが掛かった。

盛期のようにバンバン掛からないのでオトりの循環がどうしても悪くなってしまう。

まあしれども50尾弱とそれなりに掛かってくれた。動画: <https://youtu.be/egVRps5HnYE>



No. 004

釣行月日: 2024年06月14日(金) 07:00~18:00

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 17°C

河川: 安曇川・朽木(滋賀県)

水況: 減水気味

釣果: 30尾, サイズ: 12cm~17cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 楔: 6.5号本錨

内容:

天気の予報が良かったので行ってみることに。気温も上がり活性も上がり釣果も期待できると意気込んで出かける。

オトリ店では減水もあり釣果は厳しくなってるとのこと。下流域の野尻に行ってみる。流れは良さそうのだが、歩き回ってどの場所も駄目だった。6尾しかならず。船橋まで移動してみる。浅瀬は良さそうに見えるも期待外れ。何処を見渡してもあまり掛かってなさそう。トロ場の駆け上がりで粘って駄目なので場所移動をとオトリを引き寄せようとしたら何か重いので... 何と掛かっていた。居るやんと思っても少しやってみると思ってた以上に掛かる。

周辺を攻めるもあまり掛からず。掛かるポイントが限られており掛かる範囲も狭いので数が伸びなかった。



2024年版 [釣行回数: 24回 平均釣果: 57.4尾 総釣果: 1,378尾 1日最高釣果: 125尾 最長寸: 24cm]

No.005

釣行月日: 2024年06月16日(日) 05:00~17:00

天気: 曇時々晴, 雨, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: ほぼ平水

釣果: 18尾, サイズ: 13cm~19cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 楔: 6.5号本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

毎年のことだが、今回こそ栃本で高釣果をと期待して出かける。竿出しはいつも緊張する。ポーズだけは避けたい... 昨年と同じ所でスタート。オトリは良い調子で泳いでくれて、程良い時間が経過後クルンと心地よい感覚が穂先を伝わって手に届く。これは行けると続いて3尾まで順調に掛かった。段々と掛かるペースが遅くなり2尾程連続でバラシがあり10尾程で掛からなくなった。周辺を歩き回るも掛かる気配がない。石の並びとか色も良くないので戦意をなくしてしまった。場所移動を決意。弓槻も良くなさそうで10分くらいで駄目と見切り、京北まで来た。

新京北橋すぐ上が空いたので入る。浅瀬で石の色も良いので期待大。時々キラキラ...

しかし、期待したほど掛からず。獲り込んだあとオトリに使っていたアユを曳舟に入れて、掛かりアユを? あれ?

居ない! 目を疑った。タモから飛び出した?

再度曳舟からアユを取り出して、オトリとして頑張ってもらおうが、次も同じことに... どうなってるの?

戦意喪失状態。やっと循環が良くなっていたところなのに完全なロス。

その後掛かりもなくなって辺りは暗くなり、突然雨風がきつくなり竿を畳む間も無いほど天気が悪化。

車まで戻るまでには完全にびしょ濡れになるので、橋の下で雨あしが弱まるまで待つ。

直ぐに弱まったので車の所まで移動して休憩。3時過ぎには竿が出せるもオイカワが掛かっただけ。

後で判ったことだが、タモが4cm程破れていた。獲り込んだアユが居なくなったことに納得。

動画: <https://youtu.be/FQs5efFXG0c>



No.006

釣行月日: 2024年07月06日(土) 06:40~16:45

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 20℃

河川: 赤木川・四村川(和歌山県)

水況: ほぼ平水

釣果: 20尾, サイズ: 12cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 楔: 6.5号本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

雨による川の状態が良くない、家の事情とあって中々釣りに行けなかった。今回も上桂川か安曇川と迷い天気予報では雨の予報から熊野川に決定。およそ1ヶ月以来となってしまった。さてどうなることやら。

いつもの小口に入る。最初は手前の石裏の寄れで直ぐに良型をゲット。

次もあまり間隔もなく掛かる。いい調子と思ったがその後ペースが落ちてゆく。少し上下探しても追うアユがあまり無い様。次は前回同様、小和瀬に移動してみたものの3尾程しか掛からない。今年は魚影が薄いのか?

今度は請川に移動するも苔の状態が良くなくプラスマイナス0で掛かる気がしない。

これ以上移動するのは体力的に厳しいので最後に四村川に移動。前回良く掛かった瀬では掛からず、上流へ移動して浅瀬で数尾掛かったのみ。途中で移動中にバランスを崩し両手に竿と曳舟を持っているので手をつくことが出来ず、肩と頭の横をほぼ同時に河原に打ち付けてしまう。

曳舟の水が零れるは~アユは中で暴れるは~散々な目にあってしまった。不幸中の幸いか肩は擦り傷と青アザ耳上の頭は見えないが痛みはあるが今の所吐き気はしないので多分大丈夫。その後あとで膝の上の辺りも青アザが...

彼方此方と体中痛みが残る。また35℃を上回る暑さで疲労も半端ではなかった。まあ何とか無事に帰ることができた。

動画: <https://youtu.be/U-ulQML-oUU>

2024年版 [釣行回数: 24回 平均釣果: 57.4尾 総釣果: 1,378尾 1日最高釣果: 125尾 最長寸: 24cm]



No. 007

釣行月日: 2024年07月07日(日) 06:30~17:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: 安曇川・朽木(滋賀県)

水況: 若干高め

釣果: 46尾, サイズ: 13cm~19cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175, メタル0.04

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

前日の熊野釣行からの日帰りで体の負傷と疲れと暑さと明日の仕事で、体力的に持たないので近場の安曇川釣行にする。大野で竿を出す予定だったが、オトリ店主が川遊びする人も多いし釣れている船橋~水管橋を勧められたので…結局いつもの船橋に向かってしまった。川に到着してみると結構水が高く苔が飛んだ様な状態だった。今日は釣りをすべきではなかったか?もう券とオトリ買ってしまっているし... オトリ1尾しか買ってないのでどうだろう? ちょっぴり不安。右岸側の岸寄りには大きめの石があり苔も十分残っているので掛かる可能性は大。結果的には心配することはなく飽きない程度に掛かった。しかも、平均17cm鮎が殆どで引きもかなり強く釣りを堪能することができた。水が引いて苔が全面に付けば鮎の活性も良くなりもう少し釣果も期待できるかも? 梅雨明けが待ち遠しい。



No. 008

釣行月日: 2024年07月13日(土) 08:20~15:30

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: ほぼ平水

釣果: 14尾, サイズ: 16cm~21cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 楔: 6.5号本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

漁協神吉地区の大会に参加。水位はほぼ平水になってきている。亀の甲橋周辺での釣りとなるも一部青藻が付着している所もあり。いつもより釣り人が少ないように感じる。今年はまだ良くないのか? 1尾目の養殖が直ぐにグロッキー状態でやばい状況になる。天然に変えないことには後に続けない。堰堤まで歩き回り掛からない。下に下りながら少し水深のある瀬でもう1尾の養殖で弱らせないように慎重に泳がせて待っていたら、待望の当たり。周辺で1尾ばらしたものの4尾追加できた。11時に終了し、他の方も全体的に釣果は良くなかった様。昼食後再開し即掛かる。結構大きく20cmを超えるアユ。ただ、その後周辺では掛からず。橋の下流へ移動し昨年掛かったポイントを中心に攻めて良型をGET。数はあまり出なかったが当たりと引きには満足できた。早めに納竿。動画: <https://youtu.be/EAxBTaivmik>



No. 009

釣行月日: 2024年07月15日(月) 08:00~16:30

天気: 曇時々雨, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: 安曇川・朽木(滋賀県)

水況: 若干高め

釣果: 57尾, サイズ: 12cm~17cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

雨の予報で何処もまいち気が乗らない日々が続く。あまり雨が降りそうもないので安曇川へ行ってみる。

今回は殆ど行ったことがない大野へ。よく見ると堰堤からキャンプ場まで一直線の川で途中から瀬が続いている。

釣り人の少ない流れの比較的弱い堰堤に近いほうに入る。最初は右岸の瀬脇手前を攻める。

石裏で直ぐに天然に変わる。その後小さく細く白いアユが大半。やりかすか? 場所の選定ミス?

5尾に1尾の割合で黄色いアユが掛かるくらい。贅沢を言っておはおれないので, ある程度の数を確保するまで周辺をじっくり釣ってみる。今後のこともあるので対岸や下流の瀬でもちょい出しするも数が出なかった。水が引いて水温が上がれば状況も変わるかもしれない。今回は軽く流すことにした。

結局, 最初の場所に戻って掛かるポイントを再確認。

目標の50尾超えを達成。しかし, 15尾以上のバラシがあったのでうまくいけば70尾前後は行けたかも。

梅雨明けが待ち遠しい。



2024年版 [釣行回数: 24回 平均釣果: 57.4尾 総釣果: 1,378尾 1日最高釣果: 125尾 最長寸: 24cm]

No.010

釣行月日: 2024年07月21日(日) 07:40~17:20

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: ほぼ平水

釣果: 25尾, サイズ: 16cm~22cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 楔: 6.5号本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

何処に入るか迷ったが, コキノ橋下流にしてみる。オトリを送り出して直ぐにリリアンから糸が外れる...

目印を探すも見当たらず諦めて引き返す途中に発見! 糸を手繰って何とか回収することができた。しかし, 石の色が良くなく青藻が付着している。上下歩き回ったが反応が無いので諦め, 中江橋に移動するも上下釣り人が多過ぎるのでパス。結局いつもの亀の甲橋に行く。釣り人は多いが入る余地はあるので橋の上流からスタート。

どうも掛からない。下流へ移動。掛かるポイントを攻めても厳しい。

まだオトリが替わっていないので無理は出来ない。待ってたら待望の当たりがありようやく野アユゲット。周辺を攻めて少しずつ天然を追加していく。水温も上がってくるので, オトリを泳がせることに専念し深みのある場所を中心に攻めてみた。掛かるアユも平均20cmあり当たりと引きは十分あり楽しめた。

橋の下に遊び鮎が見えると期待したが空振りとなってしまった。かなりポイントに左右され, 厳しい釣りとなった。

動画: <https://youtu.be/jeCpIdCFiMY>



No.011

釣行月日: 2024年07月27日(土) 07:30~17:45

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: ほぼ平水

釣果: 26尾, サイズ: 18cm~23cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 楔: 6.5号本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

今回は山稜橋に入ってみる。いつもなら釣り人が入っているのに居ないのは...

橋の上流側から始める。ここも青藻が付着している。今年はどうも変な感じ。

石の色の良さそうな所で泳がせてみるとそれなりに掛かってくれた。

型は20cmを超えるのが殆どで獲り込みに時間がかかってしまう。少し太めの糸を使ったほうが良かったかも? 段々と釣り人と川遊びする人で賑わってきた。ひと通りやったので亀の甲橋に移動する。ここもいつもより釣り人が少ない。

まずは折口の白泡でやってみると掛かった。またその周辺で良型が連発。

橋の下に移動していつものポイントで数尾ずつ追加できトータル26尾。今年は型が良く引きが強いのでなるべくトラブルをなくしていかないと水温が高くオトリが直ぐに弱ってしまい後が続かなくなってしまう。

動画: <https://youtu.be/10xwhw9iKAc>



2024年版 [釣行回数: 24回 平均釣果: 57.4尾 総釣果: 1,378尾 1日最高釣果: 125尾 最長寸: 24cm]

No.012

釣行月日: 2024年07月29日(月) 07:00~17:45

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 20℃

河川: 安曇川・朽木(滋賀県)

水況: ほぼ平水

釣果: 88尾, サイズ: 10cm~19cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

最近釣果が様になってきている模様。

日曜日は用事があり釣りが出来なかったため、翌日に行ってみることにした。平日は比較的空いているようだった。掛かる所とそうでないところを見つけるのに歩いた。昼過ぎには水温も上がってくるのでオトリの管理に十分注意する必要があった。曳舟は完全に浸ける様にしてオトリの元気度を確保しつつ、長距離の移動も時々曳舟を水に浸けたりしながらになる。時間帯によっては狂い掛もありびっくりしたが、長時間は続かなかった。

三桁まではポイントを効率よく攻めなければ厳しい。



No.013

釣行月日: 2024年08月03日(土) 06:40~16:45

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 25℃

河川: 日置川(和歌山県)

水況: ほぼ平水

釣果: 45尾, サイズ: 10cm~17cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 楔: 6.5号本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

日置川のロケーションが懐かしく行ってみることにした。

オトリ店ではかなり厳しいよと言われた。いつもの安居で竿を出してみる。流れの緩い所で掛かるも小さい。オトリには使えそうなので鼻カン通して泳がせると次はちょっと大きめのが掛かり、次に来たのはさらに大きい。

何とかオトリが続きそうなので瀬肩周辺で飽きない程度に掛かった。

瀬落ちの深場をやってみるも掛かる気配がないので、再度瀬肩周辺でやり直し。

ト口場やヘチなどはまだ掛からなかった。まあ、40尾を超える釣果だったのでよしとしよう。

動画: <https://youtu.be/R5c0zMPss0w>



2024年版 [釣行回数: 24回 平均釣果: 57.4尾 総釣果: 1,378尾 1日最高釣果: 125尾 最長寸: 24cm]

No.014

釣行月日: 2024年08月04日(日) 08:00~17:00

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 25℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: ほぼ平水

釣果: 50尾, サイズ: 10cm~17cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

今日は熊野川本流へ入ってみる。今年初の本流である。マイポイントへ直行。
遠く上下釣り人は居るが、いつもの様な賑やかさがなく空気が空。河原が広がって川まで歩くのが遠くなった？
一匹目のオトリが鼻カン通してやるも浮いて泳がない。即、諦めオトリ缶まで戻り2尾目のオトリを曳舟に入れる。
もう失敗が出来ないので、掛かりそうなポイントを探し慎重に泳がせる。
引かず、糸ふけで泳がせるやしばらくして小さいながら掛かった。オトリが確保できたので気が楽になった。その後、大小色々掛かるも全体に小さい。しかし黄色いアユ。小さいけどオトリにしないと後が続かない。
昼からは小石底の浅場が気に入り泳がせてみると掛かる。小さいがそれなりに掛かるので浅場メインでやってみた。
何とか楽しんで良かった。後半戦が楽しみ。動画: <https://youtu.be/IE6yU9WuNQE>



No.015

釣行月日: 2024年08月05日(月) 07:30~18:00

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 安曇川・朽木 (滋賀県)

水況: -----

釣果: 92尾, サイズ: 10cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

今年初めて古川ポイントに入ってみる。手前の流れが無くなっている。瀬切れ？
右岸の流れは健在のようでポイントには2名入られている。
朝一まだ早いかもしれないけど上流のチャラ瀬から始める。手前の流れで直ぐにオトリが替わる。
思った以上に掛かる。しかし、ポイントにより当たりが遠のく。
掛かりそうなポイントを探りながらポツリポツリと掛けていく。
ただ、小さいのも結構掛かり循環がいまいち良くならない。
夕方、トコ場で良く掛かり数が伸びたので遅くまで続けた。徐々に長時間の釣りだったけど堪能できた。
動画: <https://youtu.be/sLytCROUpvA>



2024年版 [釣行回数: 24回 平均釣果: 57.4尾 総釣果: 1,378尾 1日最高釣果: 125尾 最長寸: 24cm]

No.016

釣行月日: 2024年08月11日(日) 06:30~17:45

天気: 晴後曇, 気温: ?, 水温: 26℃

河川: 熊野川・四村川 (和歌山県)

水況: 減水気味

釣果: 43尾, サイズ: 10cm~20cm

仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95, 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

前後都合で日帰り釣行。請川に入ってみる。今までは状況が良くなく全くといって良いほど掛からなかった。浅場の所ではそれなりに掛かったので、下のちよっと水深があり底石も大きめのが揃っていて良さそうに見えるも掛からず。

元の浅場に戻っても循環が悪く掛からなくなった。上流の浅場でも掛かるがどうもペースが良くない。

前回の敷屋に行ってみる。めぼしきポイントには釣り人が居て厳しそう。

暑い中オトリ缶担いで河原を歩く。川まで結構な距離で疲れる。オトリは何とか生きている。

浅場を攻め直ぐに掛かるも小さすぎてオトリに使えず。しかし水温が高いのかオトリの泳ぎが悪く掛からない。オトリ缶からオトリを追加して上流へ行く。べったつとした流れでポイントが判らないので広範囲に泳がせてみる。掛かるには掛かったけどポイントを絞り込めず請川に戻る。

入ろうとしていたところ川から声があるので見てみたら川遊びをしている。これは無理と四村川へ。

折口の瀬肩で小さいけど数尾追加。上流へ釣り歩くと川遊びをする人らが見える。何とかポイントを外していたので竿を出せたけど風もなく暑さで汗が滴り落ちる。思ったほど掛からず終了。

暑さと歩きでかなり体力消耗。もう少し気温が下がってくると良いのだが...



No.017

釣行月日: 2024年08月13日(火) 06:40~17:55

天気: 雨後晴, 気温: ?, 水温: 20℃

河川: 神通川 (富山県)

水況: ほぼ平水?

釣果: 120尾, サイズ: 11cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

結果: 三桁達成! どんだけおるんや? いつもは神通川はオトリ店より上流が殆どだった記憶。

今回は飛行機の離発着を見ながら釣りもしたく富山空港前に入ることに。早めに到着したが釣り人は数人程度。朝霧の中、瀬肩と下のチャラ瀬に先行者が居るので、中間の瀬脇と瀬がある場所に入ることにした。

まずは瀬脇の際でオトリ交換, オトリが替わると掛かりが良くなり5尾程度までは順調。

霧からいつの間にか小雨に変わり, 今日はこのような天気予報だったけ? このままではちょっと寒くなりそう。

そのうち雨も止み段々と晴れ間になってきた。釣り人も増えてきた。左岸に入っているのだから、川を渡って広範囲に釣り歩き買ったけど瀬を渡る勇気が無かったので、川を渡ることなく釣りを続けることになった。

他の釣り人が渡っているのを見ると腰辺りの水深のようだ。まあ、今回は無理はしないことにしよう。安全第一。

オトリが替わると掛かりの循環が良くなる。元気うちに次の野アユを掛けることに専念。

30mの範囲で川の真ん中から手前の範囲だけで終了。

まさか120尾になるとは信じられない。立ちこまずに浅場でこれだけ掛かるとは誰もが予想にもしなかったのでは?

最後、地元の方が帰る支度をしていたのでお声を掛けアユを進呈。クーラーボックス満タンで何とか収まった感じ?

話を聞くと8月から友釣りを始めたとのこと。それまでは毛ばり釣りをしていたらしい。

背針無しの鼻カン逆針間固定式のノーマル仕掛けで超シンプルが手返しが早くて良かったのかも?

動画: <https://youtu.be/MhkPrbF-yQo>

2024年版 [釣行回数: 24回 平均釣果: 57.4尾 総釣果: 1,378尾 1日最高釣果: 125尾 最長寸: 24cm]



No. 018

釣行月日: 2024年08月14日(水) 08:30~17:30

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 20℃

河川: *****

水況: ほぼ平水

釣果: 71尾, サイズ: 12cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

遠征2日目はいつも行くオトリ店に伺い、河川状況を聞く。

河川の状況は昨年よりは良さそうとのこと。昨日は釣り人が殆ど居なかったとのこと。今日も少ないのでは...?

昨年と同じポイントからスタートする。どうもポイントなのか泳がせが合わないのか掛からない。

落ち込みの頭のきつい所でようやく掛かる。周辺で数尾追加でき何とかオトリが続くそう。

川が小さいので小場所を転々と変えながら釣っていく。ペースがあまり良くない。午前中25尾。

午後は、上流側を攻めてみる。釣り方を少し変えてやってみると掛かるペースが上がった(時間帯なのかも?)。

少しアクションを掛けないと野アユが反応しない?

ヘチでは鮎がウロウロしているのが結構みられた。今年は良さそうな予感。ヘチでも掛かるようになり数も稼げた。

今日も満足の釣りができた。動画: <https://youtu.be/Ua3qasKoVck>



No. 019

釣行月日: 2024年08月15日(木) 08:05~18:25

天気: 曇時々晴時々雨, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: *****

水況: ほぼ平水

釣果: 85尾, サイズ: 13cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

遠征最終日、折角なので別河川にしてみる。

今回も昨年と同じ場所からスタート。最初はチャラの浅場が良さそうに見えたのでそこからオトリを泳がせてみる。

どうも反応が無い。食み痕はあるのに... 粘っても無理そうなので、少し水深のある場所に移動。

直ぐに掛かるも蹴られてしまう。再度送り出すと直ぐに掛かる。最初は10尾ペースで掛かる。

内心どれだけ掛かるんだろう?と

しかし、循環が悪くなる。3人ほど釣り人が入ってくるもどうも掛かっているような雰囲気はなさそう。ポイント?

オトリが元気で常に泳ぎ回っていないと掛かりにくい感じ? 午前中32尾。

午後からは朝いち駄目だったチャラ瀬でやって数尾掛かるも本格的な掛かりではない。橋の周辺に移動して手前の小石

底のほうが掛かるようだった。途中で雨が降り出したので橋の真下で雨をしのぎながらやって飽きない程度に掛かった

。今日は50尾程かなあ?とと思っていた。もう4時半過ぎになっていて、上流の瀬肩が気になるので次回のこともあり最後

にやってみることにした。行ってみると小石底が一面敷き詰まった浅場が広がっていた。良いかも?と泳がせたら...

そこからパラダイス。

2024年版 [釣行回数: 24回 平均釣果: 57.4尾 総釣果: 1,378尾 1日最高釣果: 125尾 最長寸: 24cm]

あまりにも強烈な当たりとハイペースな掛かりに直ぐには止められなくなった。85尾のきりの良いところで納竿。いや～、今日も大満足！ こんなことがあるから止められない。 動画: https://youtu.be/gN4yQK7ym_o



No. 020

釣行月日: 2024年08月17日(土) 07:15~17:00

天気: 雨後曇, 気温: ?, 水温: 24℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: かなり減水

釣果: 17尾, サイズ: 20cm~24cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.2

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

上桂川ももうすぐ網の解禁。アユシーズンも終盤かあ? 早いものだ。遠征も終わり近場で釣りをすることに。

暑さと減水で厳しそう。朝は小雨で気分がのらない。最初は山国神社周辺に入る。1時間ちよいやっても掛からず。中江橋に行ってみると予想以上に減水なので亀の甲橋に。

前回、オトリ缶浸けてた所が干上がっていた。どれだけ減水したかが良くわかる。

小場所狙いで掛かるが連発は2尾までだった。

それにしても型がデカ過ぎ。引きが強くなり振り回され、溜めすぎるとオトリが消耗状態。

糸鳴がするほど引っ張られたシーンもあり切れるかバレるかもと緊張感ありで、いつもと違った楽しさを味わえた。



2024年版 [釣行回数: 24回 平均釣果: 57.4尾 総釣果: 1,378尾 1日最高釣果: 125尾 最長寸: 24cm]

No.021

釣行月日: 2024年08月22日(木) 07:00~17:30

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 安曇川・朽木(滋賀県)

水況: 減水気味

釣果: 125尾, サイズ: 8cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

古川に入ってみる。最初10尾程は凄いペースで掛かる。同時に2尾掛かることもあった。1尾は掛け針にもう1尾は逆針に掛かっていた。こんなこともあるとは… その後、ペースは下がり釣り人も増えてきたので上流に移動。

しかし、掛かるペースは上がらないが、少しずつ数を稼ぐといった感じ。

チャラ瀬は狭いエリヤ?筋?で入れ掛りもあった。時間帯も?

トロでも良く掛かり夕方遅くまで掛かり続けるまで頑張ってみた。ようやく安曇川で三桁釣果。

動画: <https://youtu.be/Mxzi01HQDCw>



No.022

釣行月日: 2024年08月24日(土) 09:05~17:40

天気: 晴後曇, 気温: ?, 水温: 25℃

河川: 安曇川・廣瀬(滋賀県)

水況: 減水気味

釣果: 93尾, サイズ: 11cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

今日は釣りに行く予定ではなかったけど、どうやら行けそうなので急遽出かけることにした。廣瀬地区に… 混雑しそうだなあ。

常案橋に行ってみると駐車スペースができていてアクセスしやすくなった。というかもう10年以上行ってなかった?

オトリ1尾だったけど後から思ったけど、ハスにやられたらと思うと…

天然に変えるのにちょっと手こずった。浅場でやるもいきなりハスが掛かりオトリ消耗。

場所を変えて再度慎重に送り出す。瀬肩に追い鮎が居たのでそーっと近づけると掛かった。

まだ安心できない。ハスが彼方此方でアユを追い回してしている。バシバシ言わせながら…

結局3尾ハスが掛かった。午前中、橋の下流で何とか30尾。

休憩して午後から橋の上流へと思ったけど、橋の周辺は釣り人が集中。

さらに上流へ移動する。しかし超浅場でぐり石が敷き詰まった様なベタ底。場所が無いのでとりあえずやってみる。

かなりの群れ鮎が見える。そのうち衝突事故を期待して泳がせる。中々掛からず我慢。段々とオトリが替わってくると

オトリが元気だと広範囲に動いてくれるので、追い鮎が反応して掛かりだす。入れ掛りになって来て少しずつ上流へ移動しながらやって、昼からは63尾掛かった。廣瀬地区はハスが居るので要注意!

動画: <https://youtu.be/dw0qNHjIN0I>



2024年版 [釣行回数: 24回 平均釣果: 57.4尾 総釣果: 1,378尾 1日最高釣果: 125尾 最長寸: 24cm]

No. 023

釣行月日: 2024年08月25日(日) 08:30~17:30

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 25℃

河川: 安曇川・朽木(滋賀県)

水況: 減水気味

釣果: 120尾, サイズ: 12cm~22cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

昨日の廣瀬が暑すぎて水もぬるま湯状態。今日は曇りの予報なので暑さをしのげると思いハスの居ない? 朽木に行く。でも朝8時過ぎで25℃とは… 大野, 古川は通り道でみると釣り人が多い様だ。浅場狙いで野尻へ行く。

あれ? まだ誰も居ない。

右岸の瀬肩周辺から始める。最初の10尾くらいは良く掛かる。しかも, ポイントをこまめに変えると掛かり続けた。

1時間程経った頃釣り人が来られ, 上流の瀬肩の浅場に入っていた。自分よりも同じかハイペースで掛かっていた。

午前中51尾とまずまず。小休止の後, 左岸の流れの瀬肩の浅場でやってみる。時期と時間帯もあるのか入れ掛り。

型もそんなに悪くない。1時間15尾のペースで掛かる。途中2時過ぎ頃雷が鳴り始めたので竿を畳み車で待機。

しかし, 雨雲をレーダの観測ほどの雨がなく30分以上経っても暗い雲はなく大丈夫なので再開。

少し水も高くなっている。濁りは無く何とか釣りは出来そうだった。ほぼあ掛かり続け午後は69尾だった。

期待もしていなかった三桁には驚いた。今日も大満足!



No. 024

釣行月日: 2024年09月05日(木) 07:30~17:30

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 安曇川・朽木(滋賀県)

水況: 減水気味

釣果: 114尾, サイズ: 12cm~21cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

安曇川は今年最後かもしれない。もう十分やりきった感じ? 他の河川も気になるし... またもや野尻へ行く。

先行者ありで上流のほうへ入ることになる。前回より少し上になる。一発目すぐ来るもバレる。気を取り直し再度やり直し。

ちょっと時間はかかったがオトリを変えることが出来た。その後, ペースは良くはないが掛かる。先行者が対岸の下や上に入るのになかなかポイントを変えられない。

居なくなったところで少し上に移動するもあまり掛からない。

一か八か上の瀬肩の浅トロでやってみる。オトリが替わると回転が良くなり午前中53尾となる。休憩して午後からさらに上の小石底の浅場をやり掛かるペースにムラはあるものの掛かり続けた。

小石底でも掛かるアユは黄色く型も16cm以上がほとんど。ただ, 掛かりが悪くえら等に掛かりオトリの循環が良くないときもあり苦労した。

3回連続3桁釣行と満足。また来年...



2024年版 [釣行回数: 24回 平均釣果: 57.4尾 総釣果: 1,378尾 1日最高釣果: 125尾 最長寸: 24cm]